

## ポイント（５）保護者による学校評価

評価を生かして保護者の理解と協力を得る。

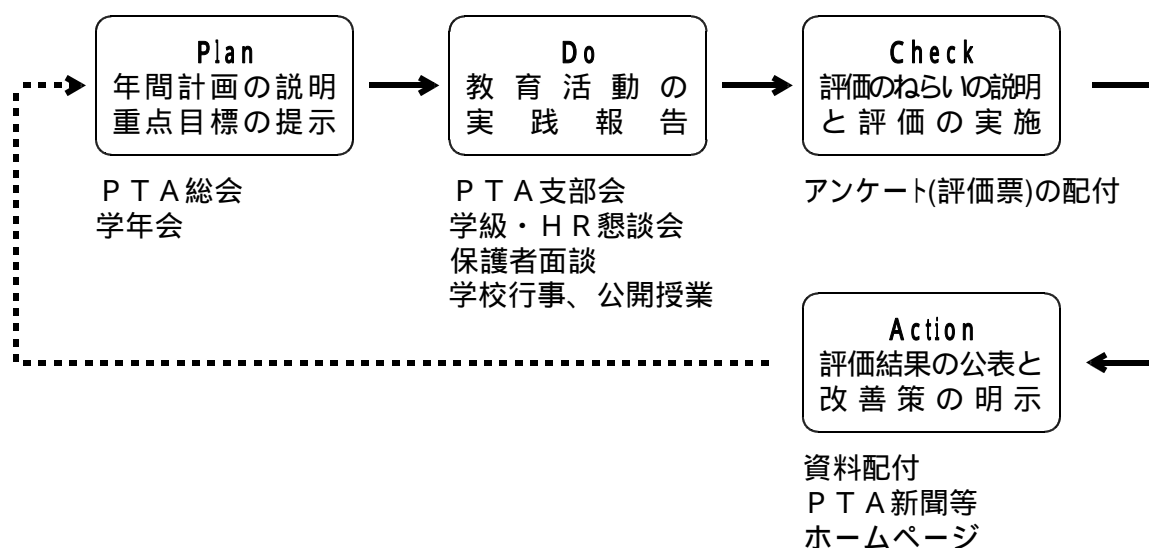
保護者による評価のねらいは、教育活動や学校運営についての理解を促し、協力を得ようとすることにあります。したがって、保護者が学校評価に関わる意義があるかについての十分な説明が必要です。

さらに、保護者に依頼するアンケートや評価票には、回答しやすい適切な項目を設定することが重要です。保護者による学校評価では、生徒を通して得られる情報や参加した数少ない学校行事などの印象から回答するため、「無回答」であったり、「よくわからない」などの選択肢を選ぶ割合が高かったりします。

このため、保護者が評価をする際に必要な情報を、どのようなタイミング、方法で伝えていくのかを工夫することが大切になります。たとえば、各教科・科目ごとに説明するよりも、学校経営、進路指導、学年経営などのまとまりで説明した方が、保護者による学校評価のための情報としては有効であると考えられます。また、盲・聾・養護学校などでは、児童生徒一人一人の個別指導計画を保護者に示しながら、学習指導・支援、相談にあたるなどの取組が進められていますが、これはシラバスを用いて説明するのと同様のねらいや効果があるといえます。

次の図は、保護者への情報提供及び評価の流れを示したものです。

保護者による評価の流れ（イメージ図）



## ➡ 【ポイント(5)の事例 その1】 項目の重点化

項目を網羅的に設定せず、回答を数値化したり、段階化したりすることで、結果をわかりやすくまとめる工夫がなされています。

また、評価項目を改善し、生徒と保護者に対して共通の項目を設定することで、課題を明らかにしようとしています。

〔事例(5) - 1〕生徒と保護者のそれぞれを対象にアンケートを実施して、自校の課題を探るとともに、評価項目の重点化や改善を図っている。

### 初年度のアンケート

#### (1) (保護者対象)

|                            |                                 |                           |  |
|----------------------------|---------------------------------|---------------------------|--|
| 卒業後の進路の選定                  | 「本校からの進路情報はどうか。」                |                           |  |
| ア 十分役立っている<br>アの結果 (17.0%) | イ もう少し詳しい情報がほしい<br>イの結果 (81.6%) | ウ 全く役に立たない<br>ウの結果 (1.4%) |  |

\* 学校からの進路情報の提供に対する満足度が低いことが明らかになった。

#### (2) (生徒対象)

|  |                        |                     |  |
|--|------------------------|---------------------|--|
| 就職情報の提供について (就職希望者) 求人情報を知る上で情報量は十分でしたか。 |                        |                     |  |
| ア 十分だった<br>(22.8%)                       | イ どちらともいえない<br>(52.7%) | ウ 不十分だった<br>(24.5%) |  |
| 進学情報の提供について (進学希望者) 進学情報を知る上で情報量は十分でしたか。 |                        |                     |  |
| ア 十分だった<br>(25.4%)                       | イ どちらともいえない<br>(55.9%) | ウ 不十分だった<br>(18.6%) |  |

\* 就職と進学のいずれにおいても、学校からの進路情報の提供に対する満足度が低いことが明らかになった。

#### (3) 分析・考察

平成15年度の保護者の項目で最も課題が明らかになった項目である。また、生徒の評価項目でも、情報提供の効果が生徒に実感されていないことがうかがえる。

ただし、生徒と保護者に対する質問項目や回答の選択肢に違いがあるため、単純に比較して分析することが難しい。

### 次年度のアンケート

#### 〔目標及び評価項目の重点化と改善の方針〕

- ・保護者への説明責任や生徒に対するガイダンスの機能の面からも、積極的な進路情報の提供を平成16年度の重点目標として取り組むこととした。
- ・平成16年度は、生徒と保護者に対して共通の項目で実施することとした。

#### 〔改善後のアンケート項目〕

卒業後の進路を選ぶにあたり、本校からの進路情報は十分だと思いますか。  
ア 十分である    イ 普通である    ウ 全く不十分である  
(ウを選んだ理由 )



## ➡ 【ポイント(5)の事例 その3】 保護者も集計作業に参加

次の例では、PTAの意向により評価票にPTA活動に関する項目を設定しています。保護者も集計作業に参加することで、参画意識の高まりが見られるようになっています。

〔事例(5) - 3〕保護者が学校評価に積極的に参画することによって、学校に対する理解と協力が得やすくなっている。

保護者対象の評価票の項目に、PTA活動に関する内容を設定している。また、評価の集計作業にPTAの役員も参加している。教育活動や学校運営に対する保護者の関心、参加や協力の意識も高まってきている。

開かれた学校づくり（説明責任）に関する評価

| 評価  | 学校評価                               |
|-----|------------------------------------|
| [ ] | 連絡帳、学年だより、ホームページなどで学校生活の様子を知らせている。 |
| [ ] | 個別懇談や家庭訪問などの際に、指導経過等を説明している        |
| [ ] | 進路や福祉、学校全体に関わる情報も保護者に伝えている。        |
| [ ] | 保護者や地域の人々の意見を取り入れている。              |

\* 評価の欄の回答

よくあてはまる                      ややあてはまる                      あまりあてはまらない  
 × まったくあてはまらない                      ? 判定できない、よくわからない